

第 43 回神奈川県立座間谷戸山公園 現場研修会報告

—テーマ：湿地環境の維持管理—

日に日に寒さが増してきましたが、作業をするには体が暖まって丁度いい頃かもしれませんね。今回の研修会は、先月に引き続き北谷戸の水路の再生と、樹林地の順応的管理を行いました。



谷戸山公園も随分と紅葉できれいに色づいていました。



午前中は、水路の再生に使う杭と粗朶(そだ)を、樹林の間伐で出た木材でまかなおうと、昨冬樹林管理を行っていた場所へ行きました。



これまでに出た材を、長さを揃えるなどして
使いやすくします。このように間伐で出た木材
を利用することも、樹林地の順応的管理の
一つと言えます。



初めて道具を使う受講生には、
ちゃんと道具の使い方も指導します。



ナタを使って間伐材を杭に加工していきます。
うまくできましたか？



昼をはさみ、午後の最初はそれぞれが関心のある環境に関する記事の発表です。受講生によっても興味のある部分は色々で面白いですね。



北谷戸の水路に行く途中、受講生が何かの幼虫を見つけました。調べたところこれは蛾の仲間、ヤガ科のマダラツマキリヨトウでした。シダ類を食草とするようですね。



さて、前月も作業をした北谷戸ですが…無事に水路は形を崩さずに残っていました。そして前月残った部分の作業に入ります。



まずは水路を再生する為に、陸地化して
しまったところを掘って水路に戻します。
山側の木がせり出して暗くなっていたところは、
伐採して少し明るくしてあげます。



参加者全員がホトケドジョウの気持ちになって、
水路を作っていきます。



掘ったあとは、土が崩れないように
水路沿いに先ほど加工した杭を立て、
粗朶を渡して土留めをします。



少し分かりづらいですが、
この写真の上部から水が湧き出ています。
やっとここまでたどり着きました。

昔見られていたホトケドジョウが好む環境、すなわちビオトープが、湧き水の流れ出している水路です。再生した水路にホトケドジョウが戻ってきてくれたら、本当に今回の作業が評価されることとなります。早く戻ってきてくれるといいですね。

来月からは本格的に樹林の維持管理作業になります。興味のある方は是非参加してみてください！